

第4回 千葉県病院局医療安全監査委員会 会議議事録

1 日時・場所

平成31年3月27日(水曜日) 午前10:00～正午
ホテルプラザ菜の花 4階「楨」

2 出席者

医療安全監査委員会：五十嵐委員、大久保委員、隈本委員、
真田委員、豊田委員、長尾委員 (五十音順)
病院局：矢島病院局長、松尾副病院局長、山崎技監、瀧口課長、
井上副参事兼医療安全安心推進室長、里見副課長、
平野主幹、武田主査
各病院：(がんセンター) 山口病院長、浜野副病院長
山田医療の質・安全管理部副部長、小林副看護局長
(救急医療センター) 石橋病院長、古口副病院長、大澤副看護局長
(精神科医療センター) 澁谷副病院長、中田副看護局長
(こども病院) 星岡病院長、伊藤副病院長、清水副看護局長
(循環器病センター) 村山病院長、岡嶋医療局長、齊藤副看護局長
(佐原病院) 山本病院長、和田副看護局長

3 概要

(1) **開会** (司会進行：里見副課長)

(2) **議題** (議事進行：長尾会長)

1) 千葉県がんセンター医療安全監査の結果について

事務局より資料1『千葉県がんセンター医療安全監査報告書(案)』を
読み上げ、委員の指示により文言の修正等を行った。(別添)

2) 次年度医療安全監査の実施について

事務局より資料2『平成31年度 医療安全監査の実施について』
を説明し、その後質疑・意見交換を行った。

決定事項

- ・ 前回の医療安全監査の講評結果を事前に監査委員へ送付する
- ・ 基本スケジュールについては、同じスタイルを継続することも重要であるため、2巡目も同じスケジュールで実施する。
- ・ 普段の業務を見ていきたいので、当日、臨時で変更することもある。

委員の意見

- ・今回、感染管理認定が監査協力員に加わったことで、適切な助言を受ける事ができてよかった。
- ・薬剤業務に関しても膨大な点検ポイントがある。患者安全上、薬剤GRMの参加は是非ともお願いしたい。

3) 平成30年度分包括公表について

事務局より平成30年度分包括公表の実施方法について説明し、質疑・意見交換を行った。

意見

- ・即時公表について、「明らかに誤った医療行為による場合」とその場で断定できることはないため、「明らかに誤った医療行為である事が判明した場合」という文言に変更が必要である。
- ・インシデント・アクシデントの表をしっかりと分けて、総数は入れずに作成する。
- ・総報告数は、組織別に前年度と比較し、全体数が増えているかどうか分かる表を作成する。
- ・インシデント・アクシデント報告総数において、少なくとも県立病院群では、報告行動が活性化して、これは外部監査委員からも一定の評価を得ているという形で公表されてはどうか。
- ・インシデントという言葉の最後に、「ヒヤリハット報告という言い方もある」という説明を加えるとインシデントの意味が伝わりやすくなるのではないか。
- ・即時公表において、家族の同意を得るときは、その後の調査、公表の流れ等を家族へ詳しく説明する事が必要であり、医療安全対話推進者等がサポートすることが望ましい。

(3) その他

(4) 閉会